
Fontan 術後患者の全国疫学調査

Fontan 術後患者の全国疫学調査を行ない、Fontan 術後の肝臓合併症の患者数を推定するとともに、どのような病態なのかを調べます。

Fontan 手術は複雑心奇形に対して実施されますが、肝硬変に進展し肝臓がんを発症する症例があります。Fontan 術後の肝臓合併症の病態は多彩で、原因や病態、わが国の患者数は現在不明です。そこで全国疫学調査により、それらを解明する事を目的としています。

Fontan 手術を受けられた方すべてが研究対象者となります。

あなた個人に、お電話などで直接問い合わせることは一切ありません。

調査は、あなたの主治医が、カルテに記載されている検査結果などを、所定の調査票に記入することにより行います。

大阪公立大学、帝京大学、国立国際医療研究センター

受

あなた個人の情報は、厳重に管理します。また、対象者について帝京大学医学部附属病院症例の本学における情報の保管及び廃棄は、「臨床研究における記録保管に関する標準業務手順書」に従って行います。

調査票には、性・生年月（日は除く）、および診療情報（カルテに記載されている検査結果等）を記載します。しかし「カルテ番号、氏名、住所、電話番号」など、個人を特定できる情報は記載しません。また、調査票の内容は、すべて数字に置き換えます。その後、大阪公立大学、帝京大学、国立国際医療研究センターで共有され、全体として統計的に集計しますが、個人の内容が外部にもれることは決してありません。集計した結果は、学術論文などで公表されることがあります。

下

